

18歳選挙権

18歳選挙権になり、初めての名護市長選が行われる。選挙権のある本校生徒には、棄権することなく権利を行使して欲しい。先生方は、一票を投じることの大切さを伝えて欲しい。

関係して、1月23日(火)に琉球新報社の企画で(報道部長の宮里努氏をコーディネーターとして)本校生徒による名護市長選に係る座談会が行われた。

記者4名とカメラマンに囲まれ、緊張した面持ちであったが、名護市が住みよい市になって欲しいとの思いが伝わる内容で、しっかりとした受け答えをしていた。後日、新聞に掲載されると思うが期待して待ちたい。保護者からの承諾書を取ったり、事前指導をして頂き難儀を頂いた久場先生に感謝です。



第40回沖縄県青少年科学作品展

第40回沖縄県青少年科学作品展の審査結果がでた。嬉しい結果が出て大変喜んでいる。頑張った生徒達を称えて欲しい。

指導にあたられた竹西先生、志朗先生にも感謝したい。

県教育長賞	「地域資源を有効活用した商品開発を目指してpartⅡ」 ～アグーラードの更なる普及活動～ 高木祐香 他4名
佳作	「校内に生息するドジョウの生態調査」 仲宗根和哉 他5名
入選	「ウデナガカクレダコの観察学習実験」 仲宗根和哉 他5名
優秀指導者賞	竹西 広一



測量上級技術検定／食品上級分析検定



しい

↑測量上級技術検定

1月25日(木)、本校で「測量上級技術検定」が行われた。審査には南部農林・中部農林の先生方があたった。教育センターでは「食品上級分析検定」が行われた。両検定とも多くの生徒の合格を期待したい。

各教科において日頃から取得することが望ましい資格一覧を1年次から示し、努力を促して欲しい。また、講習等もお願いしたい。資格取得をとおして学習意欲の向上、進路の取組の充実が図られていく。

課題研究発表会

全定各学科の課題研究発表会が行われている(定時制は25日に実施)。各科それぞれ工夫を凝らして、発表をさせている。殆どの学科がパワーポイントを利用し、しっかりと発表を行っている。事前指導もしっかりされていると感じる。



課題研究

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を

図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な態度を育てる



の目標は

- ① 調査,研究,実験
- ② 作品製作
- ③ 産業現場における実習
- ④ 職業資格の取得
- ⑤ 学校農業クラブ活動

とされている。また、その内容は以下のように示されている。



生徒の実態に合わせてではあるが、是非、3年間の学びを深化できる課題の設定

ができるよう指導して欲しい。また、内容にあるそれぞれの分野の設定ができるように工夫をして欲しい。

私が以前勤めていた学科(都市環境科、土木科)では、内容の③や④なども行っていた。特に③は現場における測量や施工管理、工程管理、労務管理、安全管理等を現場の主任技術者の方に張り付いて学ぶことができ、とても有意義であり、進路の決定にも良い効果があった。本校の特に全日では関係団体・民間企業等に依頼をし計画できると考える。研究をして欲しい。

食育講演会(定時)



1月25日(木)、定時制で食育講演会が行われた。講師は名桜大学の高瀬幸一教授で演題は「沖縄の健康が危ない！」であった。

長寿県沖縄も平均寿命の転落も下降の一途をたどっている。食と健康について学び自らの食生活を考える機会となった

